

平成20年度

上半期財政事情

「南富良野町財政事情の作成及び公表に関する条例」の定めにより、平成20年度上半期（4月1日から9月30日まで）の予算執行状況をお知らせします。

総務課財政係 ☎52 2112

まちの予算規模は？

全会計の予算総額は
44億7,185万1千円

9月30日現在の一般会計予算額は32億3,741万1千円で、当初予算より1億5,583万3千円増加しています。これは、本年度が町長の改選期であったことから、当初予算を政策的予算を除いた「骨格予算」としていたため、6月に町道幾寅鹿越線凍雪害防止工事費や金山特養線改良舗装工事費など大型事業の補正を行ったためです。

また、特別会計では、当初予算に対し1,322万9千円増加し、9月30日現在の予算額は12億3,444万円で、一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、44億7,185万1千円となっています。

一般会計の執行状況

収入は・・・

予算額に対して、9月30日までに収入した割合は58.0%で、中でも大きな割合を占める地方交付税は、予算額20億4,398万5千円に対し収入済額15億2,059万7千円で収入全体の8割弱を占めています。また、町税の収入割合は60.0%となっており、道路整備や特定中山間保全整備など大きな公共事業を実施する際の町債は、それぞれの事業が完了した後に借入れるため、9月30日までの収入はありません。

支出は・・・

借金の返済に充てる公債費の支出済額は3億3,342万4千円で予

算額に対する支出割合は50.2%となっており、また、特別職と一般職員の給与などを支出する職員費の支出済額は3億6,277万8千円で支出割合は47.9%、道路整備などの公共事業費を含む土木費の支出済額は6月補正後に発注したため5,173万円で支出割合は20.8%などとなっています。

一般会計全体では、予算額に対する支出割合が43.7%（前年度同期36.2%）で、前年同期よりも7.5%高い割合で推移しています。

特別会計の執行状況

なお、各歳入歳出科目の予算額と収入済額・支出済額は【表1】のとおりで。

特別会計には、町民の約4割の方が加入されている国民健康保険事業特別会計や高齢者の皆さんに医療給付などを行う老人保健特別会計と本年度から新たにスタートした後期高齢者医療事業特別会計、介護保険事業を運営する介護保険特別会計と介護サービス事業特別会計、日常欠かすことのできない生活用水を供給する簡易水道事業特別会計、生活排水の処理を行なう公共下水道事業特別会計があります。

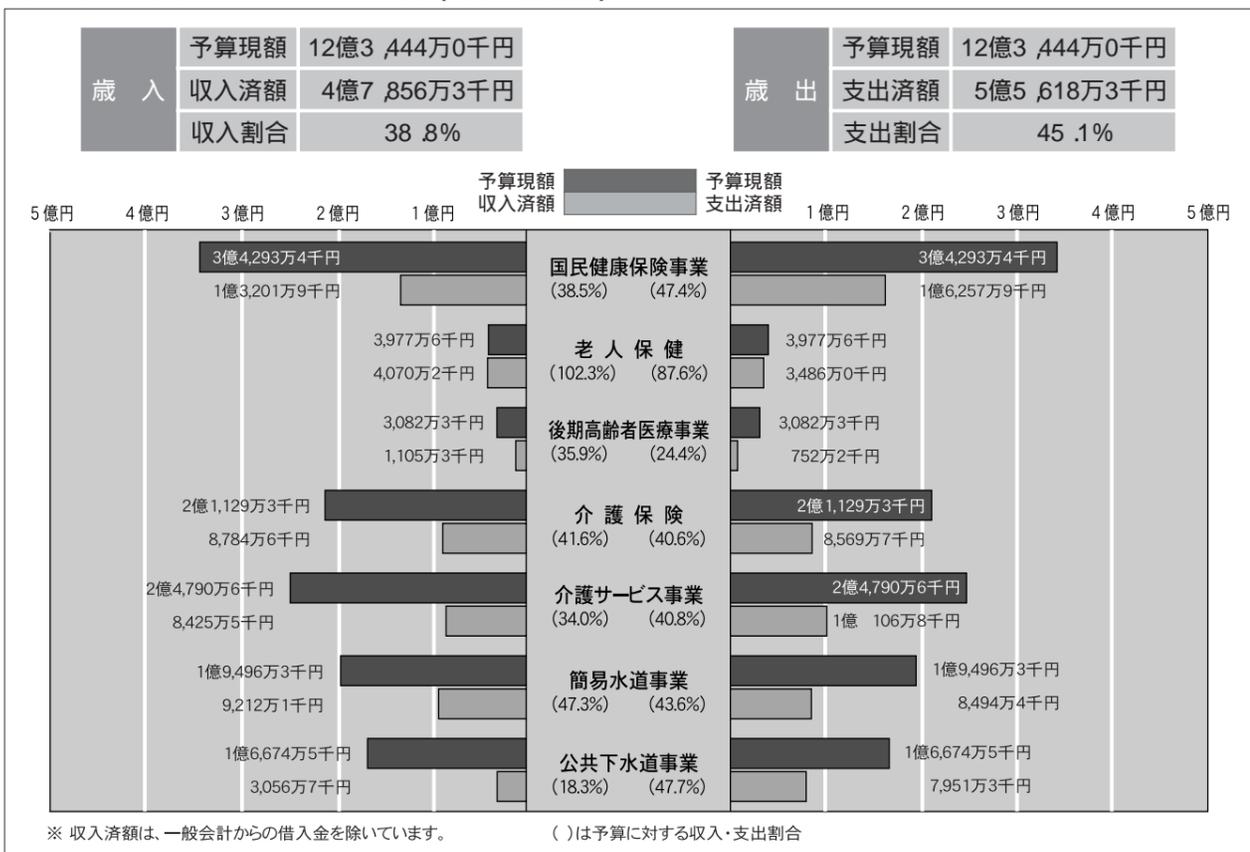
これら7つの特別会計を合計した歳入と歳出の予算額は、12億3,440万円で、これに対する収入割合は38.8%、支出割合は45.1%となっています。

なお、各特別会計の予算額と収入済額・支出済額は【表2】のとおりであり、支出済額が収入済額を上回っている国民健康保険事業特別会計と介護サービス事業特別会計、公共下水道事業特別会計では、一般会計から一時的に資金を借り入れて賄っています。

町税の収入状況（9月30日現在）

税目	予算額	収入額	収入割合
町民税	1億593万9千円	5,502万3千円	51.9%
固定資産税	1億1,895万4千円	8,108万2千円	68.2%
軽自動車税	360万6千円	368万6千円	102.2%
町たばこ税	1,799万4千円	820万3千円	45.6%
鉦産税	48万8千円	15万6千円	32.0%
合計	2億4,698万1千円	1億4,815万0千円	60.0%

【表2】各特別会計予算の執行状況（9月30日現在）



【表1】一般会計予算の執行状況（9月30日現在）

